

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第51週[12月19日～12月25日]

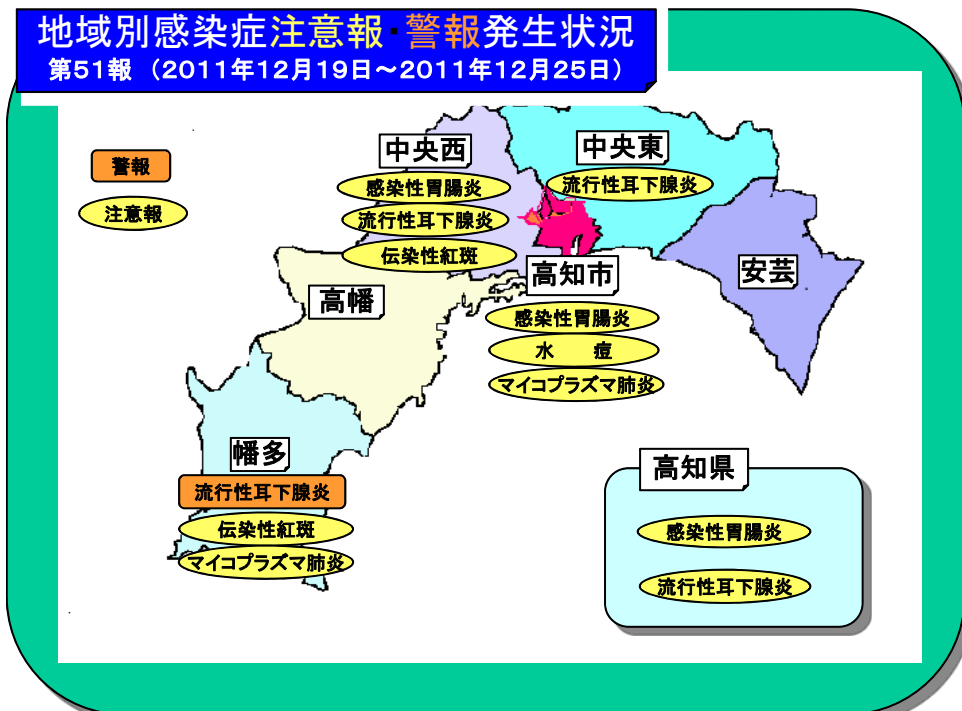
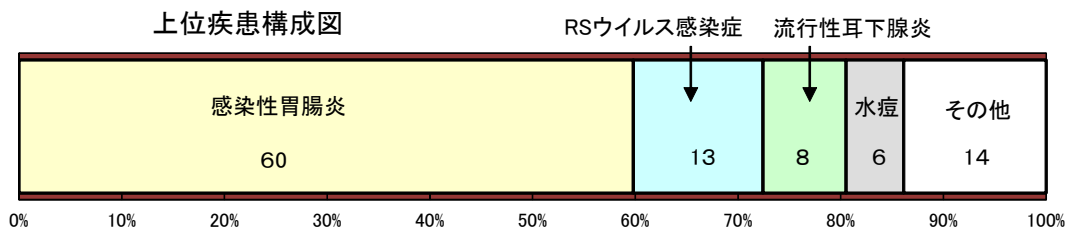
高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

○ 患者情報総評

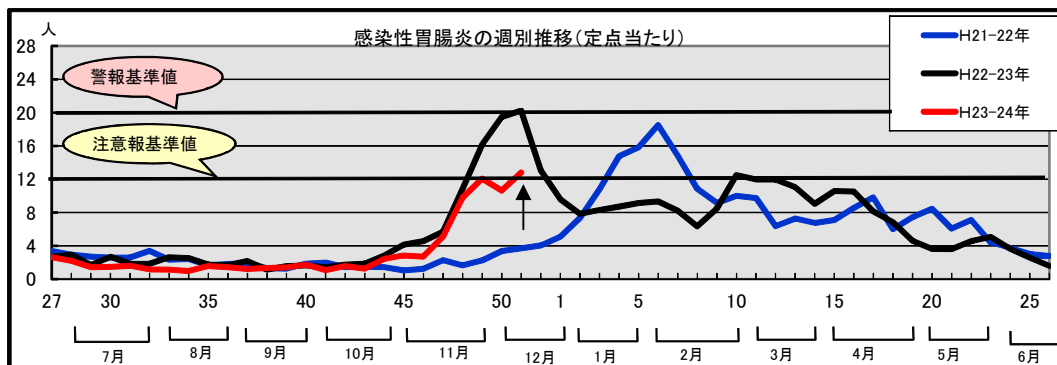
注意報発令疾患：感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎

- 前週から引き続き気温が低く、特に後半は一段と寒い週であった。
- 感染性胃腸炎**（高知市：注意報、中央西：注意報）は高知市以外では減少したが、高知市で約2倍の増加があり全体で注意報値となる。今後も流行に向かって増加すると思われるので、注意が必要である。
- RSウイルス感染症**は全体的に増加が見られ、特に高知市と中央東では高い値で推移している。今後も流行のピークに向かって増加すると思われるので、注意が必要である。
- 流行性耳下腺炎**（幡多：警報、中央西：注意報、中央東：注意報）は幡多、中央西、中央東で増加し全体で注意報値となる。今後も注意が必要である。



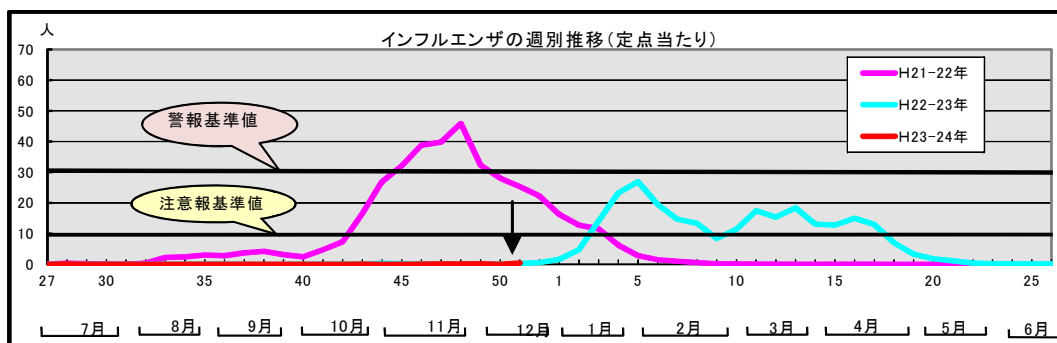
感染性胃腸炎：今週 12.80 （注意報値：12.00 警報値：20.00）

高知市で約2倍の増加があり全体で注意報値となる。また、高知市から搬入された検体からNorovirus GIIが検出されており、今後、施設での集団発生の危険性が考えられるので注意が必要である。予防としては、帰宅後の手洗い・うがい、食事前やトイレの後は必ず手を洗い予防をして欲しい。感染力が強く、2次感染にも注意が必要である。



インフルエンザ：今週 0.40 （注意報値：10.00 警報値：30.00）

今週は中央東、高知市及び幡多から報告があり、特に中央東は1.36と流行の兆しがみられる値となった。また、中央東から搬入された検体からInfluenza virus A/H3 (A香港)が2件検出された。今後、集団発生の危険性が考えられるので注意が必要である。予防としては、流行期に人込みを避けること、外出後の手洗い・うがいを励行して欲しい。



検査情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	地域	ウイルス、細菌の検出状況
51	インフルエンザ	5歳	女	中央東	Influenza virus A H3 NT
51	インフルエンザ	5歳	男	中央東	Influenza virus A H3 NT
51	感染性胃腸炎	4歳	男	高知市	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	2歳	男	高知市	Norovirus GII NT
51	急性肺炎	5歳	男	高知市	Mycoplasma pneumoniae
51	マイコプラズマ感染症	10歳	男	中央東	Mycoplasma pneumoniae
51	マイコプラズマ感染症	7歳	男	中央東	Mycoplasma pneumoniae
51	マイコプラズマ感染症	8歳	男	中央東	Mycoplasma pneumoniae
51	マイコプラズマ肺炎	6歳	男	高幡	Mycoplasma pneumoniae
51	マイコプラズマ肺炎	2歳	女	高幡	Mycoplasma pneumoniae
51	マイコプラズマ肺炎	7歳	女	高幡	Mycoplasma pneumoniae

前週以前に搬入され検出された病原体

受付週	臨床診断名	年齢	性別	地域	ウイルス、細菌の検出状況
48	急性気管支炎	1歳	男	高知市	Adenovirus 2
49	感染性胃腸炎	7ヶ月	男	高知市	Adenovirus 1
50	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳	男	高幡	Streptococcus pyogenes T1

インフルエンザ迅速検査結果（定点医療機関）

保健所	検査数	A	B	A+B
安芸	9			
中央東	62	13	1	
高知市	63	1		
中央西	6			
須崎	1			
幡多	12	3		
計	153	17	1	

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 4例（80代男）《中央東》（40代女、80代男）《高知市》（90代女）《幡多》
（今年190例）

○ 定点からの地域ホット情報

幡多

《渭南病院小児科》：マイコプラズマ肺炎 1例（20歳代女）

須崎

《もりはた小児科》：アデノウイルスによる扁桃炎 2例（2歳、8ヶ月）

中央西

《石黒小児科》：マイコプラズマ肺炎 2例（30歳代女、40歳代男）

《日高クリニック》：マイコプラズマ気管支炎 1例（4歳女）

高知市

《細木病院小児科》：ノロウイルス迅速検査陽性 6例（1歳男：2、1歳女：1、4歳女、5歳男、9歳男）

《福井小児科・内科》：百日咳 1例（50歳代女）東浜株 160倍、山口株 40倍

《けら小児科・アレルギー科》：カンピロバクター腸炎 2例（11歳男女）、
マイコプラズマ肺炎 2例（7歳男、8歳女）

中央東

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザA 11名、マイコプラズマ肺炎 4例（7、8、9、10歳代）
アデノウイルス咽頭炎 1例（2歳）

《早明浦病院小児科》：RSウイルス感染症増加、マイコプラズマ肺炎 3例（2歳女、4歳男女）

《吉本小児科皮膚科》：キャンピロバクター陽性 2例（5歳、11歳男）

《高知大学医学部付属病院小児科》：ノロウイルス迅速検査陽性 1例（1歳女）

全国情報第49週（12/5～12/11）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核 397例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症23例（有症者15例、うちHUS なし）

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病24例、デング熱2例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群16例（AIDS 3例、無症候12例、その他1例）、ジアルジア症2例、梅毒8例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん6例、麻しん3例、

報告遅れ：日本紅斑熱1例、レジオネラ症4例、レプトスピラ症1例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例

◆ 細菌性赤痢（2011年12月14日現在）

2011年の細菌性赤痢は、診断第1～49週の累積報告数が284例で、患者270例、無症状病原体保有者14例であった（無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、患者と接触した者に対する保健所の調査などによって発見される）。原因菌の菌種内訳は、*S. sonnei* が222例で最も多く、次いで*S. flexneri* 49例、*S. boydii* 10例、菌種不明3例で、感染地域別では、国外131例、国内151例、不明2例であった）。*S. sonnei* 感染例については、感染症週報第44週「注目すべき感染症」において、同一の*S. sonnei* によると推定されるクラスターの存在を報告したが、その後も引き続き同様の症例が報告されている。

クラスターを構成する報告例は、第49週現在までに8自治体（第44週から2自治体増）からの計35例（同15例増）であり、また1例目は第18週に遡ることが新たにわかった。つまり、ほぼ同一の菌株による感染が、広域に継続している状態である。これら35例は、男性34例、女性1例で、年齢中央値は35.0歳（範囲：16～71歳、Q1-Q3*：29～41歳）であった。推定される感染経路としては、経口感染13例、接触感染5例、感染経路不明17例であった。また、接触感染と報告された中には、他の性感染症を合併した症例が複数認められた。細菌性赤痢は食中毒の重要な原因であり、国内感染例については、飲食店における集団感染事例や、輸入食材を原因とした広域集団感染事例なども複数報告されてきた。一方で、最も感染効率がよいとされる糞口感染による感染経路の確認も、感染予防の上では重要となる。細菌性赤痢と同様に糞口感染で伝播するアメーバ赤痢や、ジアルジア症においては、性感染症としても認識され、予防や対策が行われている。また、*S. sonnei* 感染は一般的に下痢・腹痛などの症状が軽く、医療機関へ受診に至らない症例も少なくないと推察され、そのような症例が細菌性赤痢の感染の自覚のないまま、感染源となる可能性もある。細菌性赤痢の国内感染例においては、従来、食中毒を念頭に接触者調査、2次感染予防、菌の陰性確認等が行われているところであるが、その際、糞口感染による感染経路の可能性も考慮しつつ、適切な治療・生活指導とともに、感染拡大予防を行う必要がある。また、広域集団発生は、個々の自治体では散発例として報告される可能性があるため、疫学調査の際には菌の分子疫学的解析が必要であり、そのための菌株収集も積極的に考慮していただきたい。

* 第1四分位数（Q1）～第3四分位数（Q3）

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第51週 平成23年12月19日(月)～平成23年12月25日(日)

高知県衛生研究所

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(50週)	高知県(51週末累計)		全国(50週末累計)	
			中央東	高知市	中央西						H23/1/3～H23/12/25	H23/1/3～H23/12/18		
内科・小児科	インフルエンザ		15	1			3	19 (0.40)	(0.00)	9,738 (1.98)	12,372 (257.75)	1,329,033 (271.40)		
小児科	咽頭結膜熱		1	1				2 (0.07)	11 (0.37)	1,588 (0.50)	341 (11.37)	63,966 (20.42)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5	15	3	2	3	30 (1.00)	117 (3.90)	7,969 (2.53)	2,214 (73.80)	253,814 (81.01)		
	感染性胃腸炎	8	50	201	49	23	53	384 (12.80)	319 (10.63)	36,673 (11.66)	8,437 (281.23)	911,563 (290.96)		
	水痘	2	6	26			2	36 (1.20)	27 (0.90)	8,499 (2.70)	1,774 (59.13)	222,660 (71.07)		
	手足口病	1					1	2 (0.07)	23 (0.77)	2,279 (0.72)	3,343 (111.43)	344,341 (109.91)		
	伝染性紅斑		1	5	3	1	6	16 (0.53)	18 (0.60)	895 (0.28)	560 (18.67)	85,711 (27.36)		
	突発性発疹		4	3	1	1	4	13 (0.43)	12 (0.40)	1,754 (0.56)	717 (23.90)	91,044 (29.06)		
	百日咳			1				1 (0.03)	(0.00)	104 (0.03)	48 (1.60)	4,231 (1.35)		
	ヘルパンギーナ			1		1		2 (0.07)	13 (0.43)	151 (0.05)	980 (32.67)	138,858 (44.32)		
	流行性耳下腺炎		10	5	7		30	52 (1.73)	24 (0.80)	2,451 (0.78)	592 (19.73)	133,049 (42.47)		
RSウイルス感染症	1	29	46		1	4	81 (2.70)	72 (2.40)	3,704 (1.18)	913 (30.43)	63,832 (20.37)			
眼科	急性出血性結膜炎									21 (0.03)	1 (0.33)	4,609 (6.82)		
	流行性角結膜炎								1 (0.33)	458 (0.67)	58 (19.33)	20,451 (30.25)		
基幹	細菌性髄膜炎									16 (0.03)	7 (1.00)	528 (1.14)		
	無菌性髄膜炎								2 (0.67)	22 (0.05)	26 (3.71)	1,010 (2.19)		
	マイコプラズマ肺炎			3			1	4 (0.57)	5 (0.71)	601 (1.30)	146 (20.86)	15,856 (34.32)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									16 (0.03)	11 (1.57)	619 (1.34)		
計 (小児科定点当たり人数)		14 (7.00)	121 (16.51)	308 (27.70)	63 (21.00)	29 (14.50)	107 (20.98)	642 (21.03)						
前週 (小児科定点当たり人数)		19 (9.50)	107 (15.29)	294 (26.18)	65 (21.67)	45 (22.50)	114 (22.40)		644 (21.20)	76,939	32,540 (921.72)	3,685,175		

注 ()は定点当たり人数。

定点当たり

第51週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(50週)	高知県(51週末累計)		全国(50週末累計)	
			中央東	高知市	中央西						H23/1/3～H23/12/25	H23/1/3～H23/12/18		
内科・小児科	インフルエンザ		1.36	0.06			0.38	0.40		1.98	257.75	271.40		
小児科	咽頭結膜熱		0.14	0.09				0.07	0.37	0.50	11.37	20.42		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.71	1.36	1.00	1.00	0.60	1.00	3.90	2.53	73.80	81.01		
	感染性胃腸炎	4.00	7.14	18.27	16.33	11.50	10.60	12.80	10.63	11.66	281.23	290.96		
	水痘	1.00	0.86	2.36			0.40	1.20	0.90	2.70	59.13	71.07		
	手足口病	0.50					0.20	0.07	0.77	0.72	111.43	109.91		
	伝染性紅斑		0.14	0.45	1.00	0.50	1.20	0.53	0.60	0.28	18.67	27.36		
	突発性発疹		0.57	0.27	0.33	0.50	0.80	0.43	0.40	0.56	23.90	29.06		
	百日咳			0.09				0.03		0.03	1.60	1.35		
	ヘルパンギーナ			0.09		0.50		0.07	0.43	0.05	32.67	44.32		
	流行性耳下腺炎		1.43	0.45	2.33		6.00	1.73	0.80	0.78	19.73	42.47		
RSウイルス感染症	0.50	4.14	4.18		0.50	0.80	2.70	2.40	1.18	30.43	20.37			
眼科	急性出血性結膜炎									0.03	0.33	6.82		
	流行性角結膜炎								0.33	0.67	19.33	30.25		
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	1.00	1.14		
	無菌性髄膜炎								0.67	0.05	3.71	2.19		
	マイコプラズマ肺炎			0.60			1.00	0.57	0.71			34.32		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.03	1.57	1.34		
計 (小児科定点当たり人数)		7.00	16.51	27.70	21.00	14.50	20.98	21.03						
前週 (小児科定点当たり人数)		9.50	15.29	26.18	21.67	22.50	22.40		21.20		921.72			

2011年週報推移(定点当たり)

